

# 2018年入試 合格までのスケジュール

	国公立大学		私立大学	研伸館 (予定)	
	分離・分割方式	中期日程 (公立のみ)			
2017年					
7月	～31日	「選抜要項 (日程・定員・出願科目・時間・配点など)」発表		第1回研伸館 センター模試 プレガマフェスタ	
8月			A O 入 試	夏期講習	
9月	1日～	大学入試センター試験 受験案内配布			
10月	9月26日～10月6日	センター試験の検定料の納付 (金融機関・郵便局) 大学入試センター試験 出願 ※1		第2回研伸館 センター模試	
11月		センター試験の確認はがきの送付	推 薦 入 試	私大願書配布会	
12月	～15日	センター試験の受験票等の送付 「募集要項」発表 ※2			冬期講習
2018年					
1月	13日・14日	大学入試センター試験 (本試験)		直前講習 (センター対策)	
	～19日	センター試験の正解等の発表 センター試験を課さない推薦入試の結果発表		直前講習 (私大対策) (国公立2次対策)	
	20日・21日	大学入試センター試験 (追試験・再試験)			
	22日～31日	2次 (個別) 試験出願 ※3	出 願 ※5	合格発表・入学 手続き ※7	
2月	～7日	センター試験を課す国公立大推薦入試・A O入試の結果発表			一 般 入 試 (2月) ※6
	～7日	第1段階選抜の結果発表 ※4			
	～14日	国公立大推薦入試・A O入試合格者の入学手続き ～20日 第1段階選抜の結果発表 ※4			
	～25日	2次試験受験票確認 (2月中旬になっても届かない場合は大学に問い合わせを)			
	25日～	前期日程試験 ～28日 第1段階選抜の結果発表 (後期) ※4	一 般 入 試 (3月) ※6		
3月	6日～10日 (公立は1日～10日)	合格発表			
	～15日	入学手続き	8日～		
	12日～	後期日程試験	公立大中期日程試験		
	20日～24日	合格発表	合格発表		
	～27日	入学手続き	20日～23日		
		詳細は大学発行の募集要項・ホームページ等で必ずご確認ください。			

※1: 「センター試験出願」は現役生の場合、出願書類の配布から回収、大学入試センターへの出願まで、大半は高校がまとめて行う。(大学付属高校によっては、個人で願書入手から手続きを進める必要がある。)

※2: 「募集要項」には、試験会場や試験の時間割、受験料など、入試に関する詳細な事柄が記載されている。また、出願の際に必要な「願書」が一冊になっている。「募集要項」は直接大学に申し込んで入手する。私立大学の場合は大手の書店で購入することもできる。

※3: センター試験後、通常、自己採点したうえで、受験をする大学に「2次試験出願」を行う。すべての国公立大学とほとんどの公立大学が分離分割方式 (前期日程・後期日程) の日程で2次試験を行うが、公立大の一部は分離分割の前期と後期の間に中期日程試験を行う。また、国公立大学の教員養成や実技系統で、前期のみ・後期のみの日程がある (※近年は、後期日程を実施しない大学も増えつつある)。なお、前期日程で合格して入学手続きをすると、中期受験可、後期不可。多くの大学では、入学定員の大部分を前期日程で募集するので、第一志望校は前期日程で受験することを前提としよう。

※4: 2段階選抜を予定している大学・学部では、予告の倍率を超えると、センター試験の成績により第1段階の選抜が行われる。

※5: 志望大学から取り寄せた出願書類に必要な事項を記入し、出願する。その際、各大学の指定する方法で受験料を払い込む。各大学がそれぞれの出願期日を決めているので募集要項を必ずチェックすること。

※6: 1月中旬から3月中旬にかけて、各大学の独自の様々な方式で試験を行う。ちなみに関関同立は2月上旬が入試のピークである。試験日が重ならないければ、何大学でも受験できるので、うまく受験作戦を組み立てていくことが勝負の決め手となる。また、受験前に必ず試験会場を下見しておくのも重要である。所要時間、道順等を知っておくことで、迷うことも、あせることもなく、落ち着いて出陣できるはずである。

※7: 入学手続きの1次手続きは合格発表後、7日～10日間程度が一般的であり、最終は4月上旬頃までである。